

Q&A 矯正治療についての Q&A



Q1. 矯正装置は取りはずせるのでしょうか？

A. 患者さん本人がはずせるものと、そうでないものがあります。矯正装置には多種多様であり、どのタイプを使用するかは患者さんの症状により異なります。なお、かぶるタイプの装置は、取り外しできるので、学校や職場など外出先では使用する必要がありません。

Q2. 転勤などで転居する場合は？

A. 引っ越しが決まったらお早めに御連絡下さい。できるだけ継続治療のできるよう手続を行います。転勤の可能性がある方は、最初から教えておいて頂けるとスムーズです。



Q3. 歯に付けるブラケットが取れてしまいました。問題ありませんか？

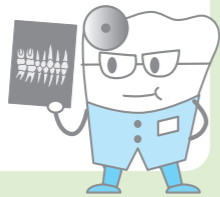
A. 矯正治療で使用するブラケット装置は、治療が終了した後、撤去することになるため、虫歯の治療のように絶対にとれないように接着するわけにはいきません。そのため、硬い食べ物をかんだ時に外れてしまうことがあります。もし取れてしまった場合はご連絡ください。

Q4. 治療を途中でやめたい時は？

A. 装置が入った後、途中でやめたくならないように、始める前に充分ご説明致します。しかし治療の必要上、歯を抜いて治療している場合などは、抜いた歯に対する責任を果たす前に装置をはずす事はできませんので、ご理解下さい。なお、患者さんのご都合で治療を中止する場合、お支払い頂いた治療費は返金できません。また、分割でお支払いの場合は完納していただく必要がありますので、ご了承下さい。ただし、転居による転医などの場合は内容に応じて返金致します。お子さんの場合、こちらで親御さんの思いに反して、処置や治療が大きなストレスになってしまう場合があります。終わればやって良かったと思えるのでしょうか、長期間に及ぶ処置や、その間の衛生管理、装置の装着など、ストレスの原因は決して少ないとは言えません。低年齢で始める場合は、親御さんご家庭でのフォローが大変重要になります。

Q5. 矯正するのに歯を抜くって聞きましたが...

A. 凸凹やアゴのズレの度合いによっては健康な歯を抜いて治療することもあります。必ず抜くというわけではありません。最初に行う、治療前の検査で、アゴや歯の大きさ、すべての歯を並べるためにはどれくらいのスペースが足りないということを検討した上で、歯を抜くことが必要となる場合もあります。当院ではできるだけ非抜歯での矯正治療を目指しています。それでもどうしても抜かなければいけない場合もありますので、そのときは十分ご説明致します。虫歯や歯肉炎といった一般的な処置を除いて、矯正に伴う矯正のために必要と判断された一部の処置には、保険制度上、投薬も含めて保険適応外になる場合がございますので、ご了承下さい。



Q6. 矯正中にスポーツはできるの？

A. どんどん楽しんで下さい。スポーツガードというボクサーのマウスピースのようなものなどで、お口の中を保護することができます。いろいろなタイプの歯がありますのでご相談下さい。当院の患者さんは、実際に矯正治療中も、柔道、カラテ、野球、サッカー、バスケットボール等々を楽しんでいます！



Q7. 医療費控除の適応になりますか？

A. 医療費控除とは家族全員で多額の医療費を支払ったときに、確定申告を行うことで所得税が還付される制度です。自分や家族の病気、怪我などにより支払った医療費(薬局で購入した風邪薬の代金なども含む)があるときは、次の算式によって計算した金額を医療費控除として所得から差し引くことができます。
●【その年中(1/1～12/31)に家族全員で支払った医療費】－【保険金などで補填される金額】＝【A】
●【A】－【10万円または所得金額の5%(どちらか少ない額)】＝【医療費控除額】
この範囲内で一時的に支払われた医療費が控除され、場合によっては還付されます。ただし、噛むことに関して問題が生じているお子さんが対象となります。その他、いろいろな条件などがございますので、国税庁ホームページ www.nta.go.jp でご確認ください。

Q8. 検査代、装置代などは別にかかる、基本施術料とはなんですか？

A. 矯正治療は、装置を使って治療するだけではありません。悪習癖(特に舌を出したりする悪い癖)を直すトレーニングや、うまく大人の歯が出てこられるように子どもの歯を抜いたり削ったり、食生活や歯磨きの指導など、さまざまなことがあります。基本的には装置をなるべく使わないで治療を行い、必要に応じて装置を選択します。したがって、基本施術料(基本料金)とは矯正治療を受けるに当たって基本となる治療に対する料金のことです。

Q9. 自分の結婚式の記念撮影等の際に一時的に外してもらうことは可能でしょうか？

A. ご自身の結婚式などの際には、見える部分の装置を一時的に外すことは可能ですが、外すタイミングが重要です。結婚式の前撮りなど、スケジュールを早めに教えて頂ければ、それに合わせて歯を動かしていきます。少なくとも前歯が綺麗になっている状態にしたいので、日程などがわかり次第ご連絡下さい。しかし、装置の種類によっては再装着の実費を載くことがありますので、ご了承下さい。

Q10. インプラントを使うこともあると聞いたことがあるのですが...

A. 矯正用のインプラントはアンカーピンと呼ばれるもので、一般に言われるインプラントとは全く別の物です。矯正用インプラント(アンカーピン)は、歯を動かすために歯槽骨に埋め込む補助装置(長さ約8mm、太さ約1.6mm)で、矯正が終わるときには外します。矯正用インプラントを顎の骨に埋め込み、固定源として使用する事により、今までの矯正治療では難しかった歯の動きを可能にし治療期間の短縮や外科手術(顎を切る等)が必要な患者様の治療も可能にしたり、非抜歯矯正の可能性の拡大、患者様の治療協力の軽減等が行える治療法です。埋め込む処置も5分くらいで終わります。

Q11. その他に不正咬合に関連することがありますか？

A. 私たちの食生活がカレー、ハンバーグ、ファーストフード等の軟性食品が中心になり、食事でかむ回数が減っています。そのため、アゴの骨の成長が阻害されている患者さんが増えてきました。固い食材のものを食事に取り入れることは難しい時代になってきていますので、柔らかい食べ物でも、かむ回数を30回に目標にして下さい。また、お茶などのペットボトルが食卓の上に用意されていることが多く、子供たちの食事を観察すると、4.5回飲んで、すぐ飲料水で飲み込んでしまうということが見受けられます。よくかんで食事をしましょう！また、幼児期の指しゃぶりや、おしゃぶり、爪などの物を咬むなどの悪習癖が長かったりすると、上下の前歯が開いたり、出っ歯になったりし、ものをかみきれなくなったりします。また、舌を上下の歯の間に差し込んでつばを飲むようになり、新たな悪習癖を発生させることとなります。さらに悪化すると骨に影響が及び、手術をしなければ治らなくなることもあります。4歳までには、かならず止めさせてください。なかなか止められないお子様については、当院にて指導しておりますので、お気軽にご相談ください。



矯正治療をお考えの方へ

歯並びや、かみ合わせが悪いと、「こころ」と「からだ」の2つの面から問題があると考えられます。



●こころ

歯並びが悪いと、気になって口もとを押さえて話をしたり笑ったりする方がいらっやいます。歯並びのせいでコンプレックスになり、人前で大きく笑うことが出来なかったり、笑顔に自信が持てなくなり、何にでも消極的になってしまうことがあります。勇気を出して治療を行うことで気になっていた歯並びが綺麗になることはもちろんですし、皆様の心を明るくするものです。

矯正治療はお子さんだけのものと思われがちですが、大人の方も十分に治療可能です。差し歯やブリッジが入っていても、歯の根と骨がしっかりしていれば矯正治療を行えます。良いかみ合わせは、スポーツと同様、健康な体作りに大変役立つもの

初めて矯正治療を受けようと思っている方は、どんな事をされるのか大変不安に思っている事でしょう。たくさんお金がかかるのではないかと、いきなり目立つ、ひどい装置をつけられるのではないかと、

そこで、最初に来院された日は矯正治療についての**無料相談**を行います。まず、拝見させていただき、

- 不正咬合の原因がどこにあるか？
- 放置した場合、将来予測される歯並びやかみ合わせは？
- その原因を取り除くためにはどのような装置をどのくらいの期間使用する必要があるのか？
- また、費用が総額でだいたいどの程度必要か？また、どのような支払い方法があるのか？
- また、どの程度、治療する事ができるのか？

などについての概要をご説明致します。ただ、これはあくまで予想です。治療を始めることになった場合、精密検査を行い、その結果によって得られる診断から詳しい治療計画をお話し致します。

個人個人によって適切な矯正開始時期などが異なりますので、まずはお気軽に矯正相談にいらしてください。

●からだ

歯並びが悪いと、歯磨きが難しく、汚れの取り残しが虫歯や歯周病を引き起こす原因になります。また、口びるを閉じることが大変でいつも口が開いている人は口の中が乾燥しやすく、よりむし歯や歯周病になりやすい状態といえます。このほかにも歯並びは発音や、咀嚼、アゴの関節との関係もあります。矯正治療はこのような障害を取り除き、将来にわたってご自分の歯でよくかめる健康な状態にする治療です。

と言えます。健康な歯並びとかみ合わせは、単に見た目にきれいなだけでなく、お子様にとっては、生涯を通じて大きなプレゼントといえます。このような観点のもと、皆様の健康づくりに役立てばと考えております。



治療開始までの流れ

矯正相談

相談時に、治療開始時期、治療期間、費用および治療の概要について説明をします。

精密検査

不正咬合の状態を正確に調べるために基本検査の他に次の資料をとります。

- ①お口と顔の写真
- ②レントゲン
- ③お口の歯型(模型)

診断

精密検査による結果をもとに立てた治療計画をお話しします。

治療の準備

診断時の治療計画に納得いただけたら治療の準備と歯磨き指導を行います。

治療開始

いよいよ！治療開始です。